

保団連経税部アンケート第7弾結果まとめ

調査対象: 徳島県保険医協会会員

調査方法: 開業会員へFAXにて送付

調査期間: 2020年11月26日から12月10日まで(対象は10月受診分)

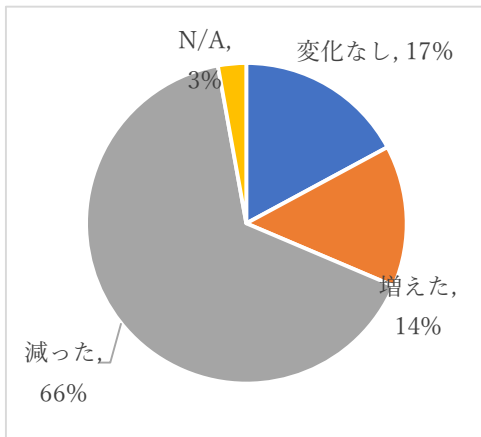
発送数: 407件(医科243件、歯科164件)

回答数: 53件(医科35件、歯科18件)

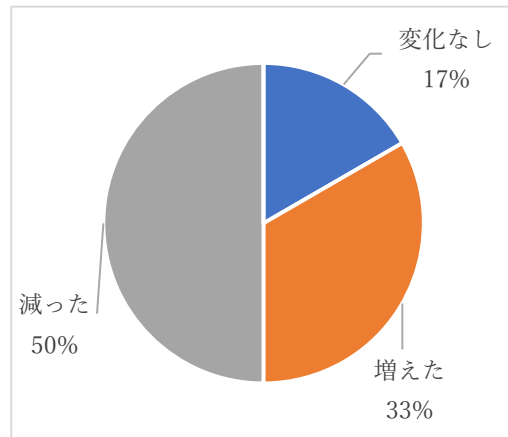
回答率: 15.0%(医科14.4%、歯科11.0%)

1-① 10月度外来患者数の増減

医科

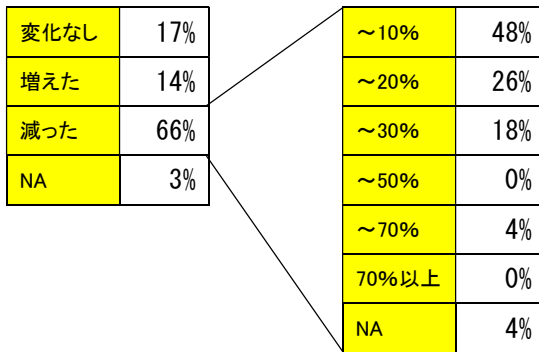


歯科

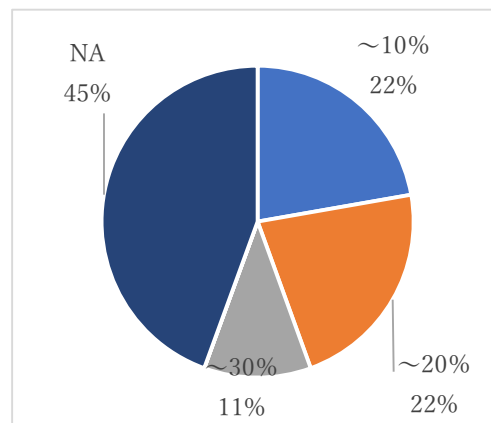
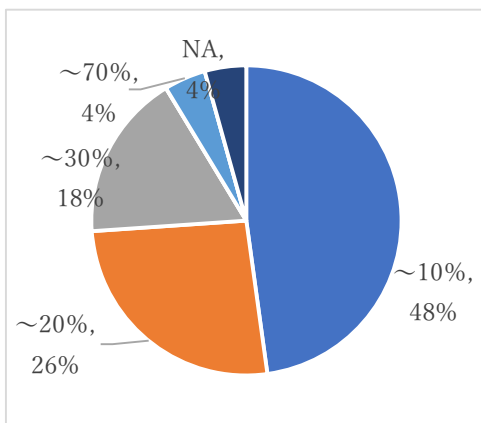
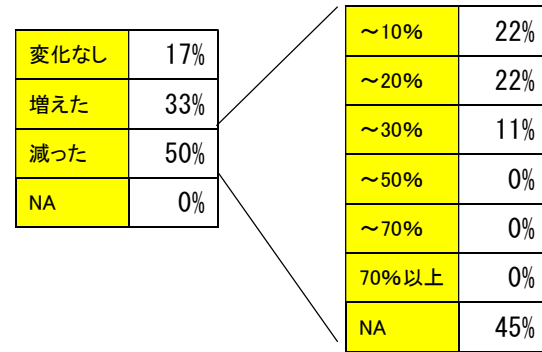


1-①の内減少率

医科

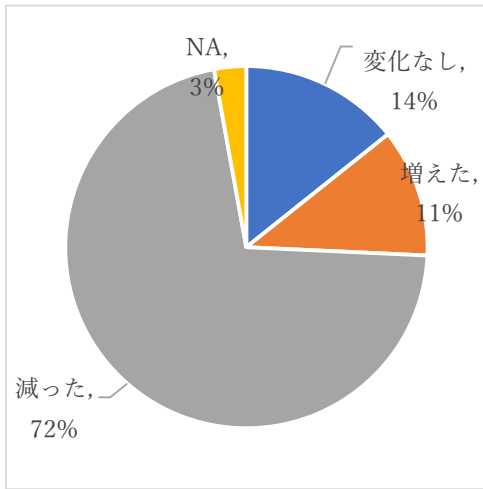


歯科

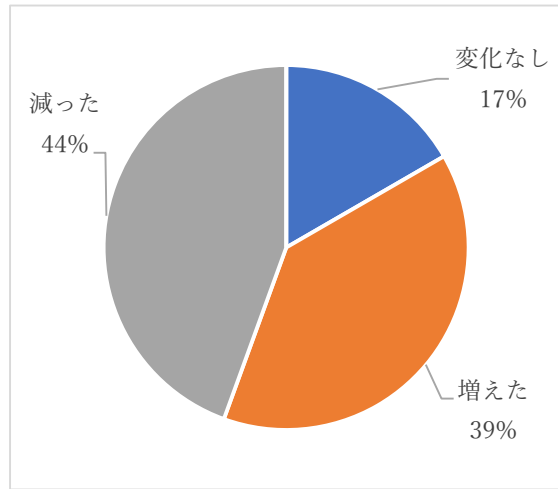


2-①保険診療収入の増減

医科



歯科

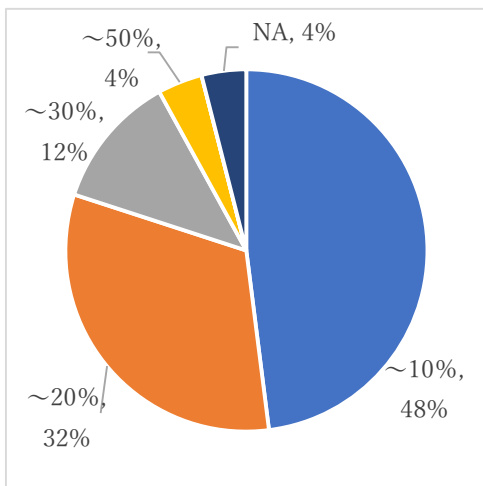


変化なし	14%	~10%	10%
増えた	11%	~20%	32%
減った	72%	~30%	12%
NA	3%	~50%	4%
		~70%	0%
		70%以上	0%
		NA	4%

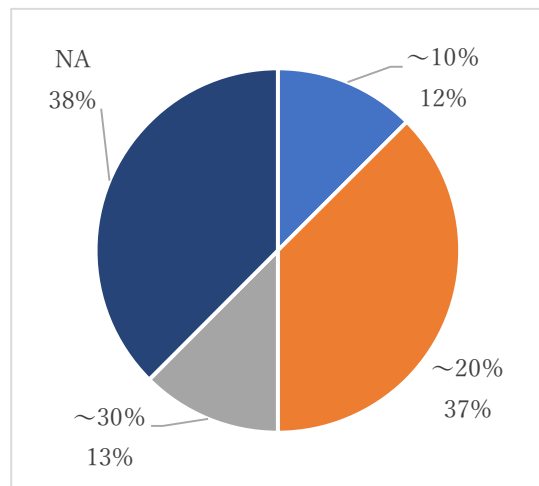
変化なし	17%	~10%	12%
増えた	39%	~20%	37%
減った	44%	~30%	13%
NA	0%	~50%	0%
		~70%	0%
		70%以上	0%
		NA	38%

2-②保険診療収入の減少率

医科



歯科



3. 自由記載欄

医科

[患者さんの受診控え関連]

- ・長期処方が増え、患者さんの症状変化が把握しにくくなった。(内科)

・高齢の高血圧患者が何カ月も来院せず、不調になって、来院。来なかったのは「コロナが怖い・・・」(内科)

[経営・雇用管理面]

・オンライン診療の増加が収入の減少になっている。受診控え続いている。(内科)

[患者の病状や対応]

・小児科で大半が発熱患者であるため、対応に苦慮している(小児科)

[検査、感染防止]

・発熱外来診療検査協力医療機関に登録して、10月中にPPE必要量を申請したが、まだ届かない。(内科)

[行政への要望]

・長期処方(ほとんどの患者がこれです)の加算を増やしてほしいです。

・スタッフの数はギリギリです。診療報酬を増やしてほしい。マスク、手袋、ガーゼ、レントゲンカバー、ガウン等何倍も値上がり、入手困難あり。(泌尿器科)

・医療への財政支援が必要(内科)

[その他]

・今年の10月はインフルエンザワクチン接種で忙しかった。(内科)

・発熱外来を駐車場でやっているが、医師はマスク、手袋の取り換えやガウンの着脱等感染対策の上、対象者と非対象者を診ても良いとQ&Aにあったが、何故同様の対策で看護師もOKとならないのか?スタッフの確保が大変です。(内科)

・発熱外来時のG-MIS、HER-SYSの使い方が良くわからない。(パソコンを十分利用していない者として・・・)(内科)

歯科

[患者さんの受診控え関連]

・外来患者数は前年と比べ診療日数減によるものだと思われるため、コロナの影響はそこまでない。

・4~6月くらいが底で回復してきましたがまだ・・・。

・受診手控えの患者も多いと感じています。

[懸念]

・いつまで続くかなというのと、第3波の増加が気になります。

[給付金について]

・100万円の持続化給付金の制度がよくわからない

[行政への意見]

・行政からの感染者の公表を今すぐやめるべき。制度に則り知事が会見しているのだろうが、現状は感染者が特定され、差別や嫌がらせを生んでいる。実際、症状があっても公表を恐れ、検査や受診を拒否し、経路不明の市中感染を広げている。